

常勝ネイチャーサバイバーズギルト概念

メタンモ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

若駒ステークスから皐月賞までの間に大きく力を落としたトウカイティイオ一。

皐月賞で彼女に勝つても全く表情のきえないナイスネイチャ。2人はすれ違ったまま、クラシック級の有馬記念で戦うことに――

目
次

常勝ネイチャーサバイバーズギルト概念

常勝ネイチャーサバイバーズギルト概念

若駒ステークスのあの走りは、未だに目に焼き付いている。あれは、今まで一番気持ちよく走れたレースだつた。

『まだまだこんなもんじやないからねつ！ ボクの活躍から、目を離さないよーにつ！』

あの言葉を疑う人なんか、いなかつた。

これからもつと速くなれるつて、信じてた。

その言葉は、実現しなかつた。

実現したかつたな、あの言葉。

アタシのせいだ。

あの車のせいだよ。

あの子を庇つて、突つ込んで来た車に――

――痛いこと思い出させないでよね。

一番近くにいたのはアタシなのに。

一番早く動けたのがボクだつただけ。

アタシが竦まなければ、みんな助かつたんだ。

あの子もボクも生きてるのに、縁起でもないな。

どう償えれば良いか、ずっと答えが出ない。

謝る必要もないのに、答えなんかあるわけがない。

皐月賞の主人公は、アタシじやない。

一番速かつたのに、まだ言つてる。

ほんとなら、1バ身以上離されて負けてたはずだ。

全力のボクに勝つたのに、失礼しちやう。

ダービーを走つても、どうしたつてキラキラが遠い。

ボクはまだ終わらないつて、本音を言つただけなのに。

ほんとなら、3バ身以上はちぎられてたはずだ。

後ろで足搔いてたボクは、偽物だつて言うの？

菊花賞では自分のレースができた……主役のいないレースを。

最も強いウマ娘が、なに弱弱しいこと言つてるのさ。
とうとう欠場して……アタシのせいだ。アタシのせいで……。

ふざけるな。

え……？

あれはボクが決めたことだ。

ちよつと、そんな走り方で！

そこからの苦しみも、回り道も、全部ボクが選んだことだ！

止まつて！ 脚が壊れちゃうよ！

どうしたの、偽物のボクに並ばれたよ？

違……そんなつもりじゃ……

じやあ本物のボクに完敗しなよ、それが望みでしょ？

お願ひ、止まつて……。

ボクを無視し続けた子の言うことなんか、聞いてやらない。
……わかつた。

ふーん？

それならアタシは、アンタに勝つ！

簡単に言つてくれるね。

簡単じやない。ないからこそ、アタシは勝つ！

この！

誰よりもキラキラしてるアンタを、今日ここで越えてみせる！
……。

もう逃げないんだ！ アタシが主人公になるんだ!!
——バカだなあ、ネイチャは。

ティオー！

とつぐにそうなつてたのに。ほんとに、バカだ。
あ、ああ……！

なんて顔してるのさ、このボクに勝つたのに。
……あり、がとう。

ねえ。今日のボクも、偽物だつた？

違う……ずっと、ずっと本物だつた。

今日のボクは、輝けてたかな？

ずっと輝いてた……誰よりも強かつた！

じゃあ、ボクに勝ったネイチャは何なさ。

……三冠ウマ娘で。グランプリ、ウマ娘。

そんな顔じや世界一情けないグランプリになるよ？

うつ う、うう。

いい加減、歩き出しなよ。五冠ウマ娘さん。

……うん。

今のうちに進まないと、すぐ抜いちやうよ？

うん……！

それまで負けたら、承知しないから。

……待つてる、から。

そ。

アンタを越えた主人公として、待つてるから！

いいね。

もう1回、最高の勝負で負かしてやるんだから！
楽しみだよ。でも勝つのは、ボク……

…………だから。1回も負けずに、待つてるから。

今はおやすみ。ティオー。